



東 北 方 面

渡波と祝田間萬石浦架橋

(差當り木橋でもよいと)

關係町村から促進を迫る)

二十餘萬圓を投じた金華山道路を産業道路として眞に機能を發揮させるには、渡波祝田間の萬石浦に架橋せねば何にもならぬとして、關係町村よりしばしば縣當局に請願したのだが、緊縮時代となつて實現は見なかつたが、牛塚知事時代に、木橋では

安く出来るが、萬石浦の風光と金華山道路の咽喉になつてゐるだけ、同所を名勝地たらしめるべく、景観を添へる鐵橋を架ける必要がある。

といふので一應尤もの説として今日に至つたが、鐵橋は縣の設計では十萬圓とし四分の一を關係町村より寄附支出させることにし、約六十間の一大長橋たらしめる方針であるが、これでは到底何時のことか實現の期が見當がつかないといふので、鐵橋計畫は後にしてもいゝから、差當つて木橋で架けたいといふのである。

木橋にすれば、僅かに四萬二千圓内外で

水面上十五尺の高さで幅四間、長さ六十間の長橋が出来るので、出入船舶にも支障なく、金華山道路をして産業道路として牡鹿半島の山林、漁業その他の産業を開發振興させることになるといふので、關係町村長間に熱心に主張されて居り、來る二十三、四日頃石巻町に開催の豫定である。牡鹿郡町村長會議に附議される模様である。

菊地渡波、大森鮎川町村長はこの説を主張し、町村長會の決議によつて縣に迫ることになるだらう。

宮城縣新縣道の交通

本月廿日迄延期

黒川郡鶴巢村北目大崎縣道吉岡街道筋より鳥谷暮柳太田山田小鶴澤を経て、宮城郡利府村澤乙に出で菅谷において石巻街道と相會し、更に鹽釜に至る四里の新縣道も既報の如く工事竣工疾うに開通の筈なりしも、何分新道の上に重粘土地帯とて、砂利

が埋没する量多く、三月二十日まで交通は延期申請中だが、解雪後二三回の敷き礫によつて安全なものが出ることであり、この道路によつて都會へ運ばるゝ農林産物には、鳥谷の吠、薙、太田山田の薪炭の外落合真坂の亞炭同曠土の農作物で、幹線吉岡道路より車馬の交通繁盛を豫想されてゐる。

放任される石巻内海橋架替、トラツクの交通も危険再び縣に促進を迫る

石巻町外關係町村では、産業振興のため交通の整備を期すべく、危険な内海橋の架替を縣當局に請願し、促進をばかるところあつたが、五年度の豫算にも編入されず、其まゝになつてゐるので、石巻町當局でも困り切つてゐるが、石巻土木工區でも何とも豫算がないので、手もつけられないといつてゐる、土木工區としては昨年内海橋が動搖甚

だしく、一噸積のトラツクでさへ交通するに危険を感じてゐる有様で、當時橋脚の検査を行つたのであるが、その結果一噸積位の重量ならば堪へるが、それ以上の重量では到底橋脚が堪へないといふことになるが、一噸積のトラツクなり、荷馬車が交通し得るまでは架替をせず放置されることにならうといふので、この際極力架け替の促進をはかるべしといふが、縣當局では洪水が出來て潰れるか曲るかせれば架け替をしさうにも見えない。

松島高城に通ずる線は

是非一氣にやりたい

既報の如く幡谷信號所がいよゝ昇格實現することに決定したので、よろこんだに同地方民この上は道路を造れ、さなくば再び煙になつてしまふぞとばかり、同縣中心に黒川郡と桃生郡との東西線の外、同所より松島高城街に到る一線に近く着手する由

だが、工費豫算の關係が、これが高城街まで一氣に貫ぬかず根建り附近に止め置く工事も洩れ傳はるや、幡谷驛を利用する部落としても又同驛が地方を目立てにするとしても高城街の存在は忘れてならぬもので、海陸産物の輸出入や交通上にも、この幡谷驛高城間の結びつけは度外規さるゝ問題にあらで、この際どうあつても高城街に到る道路の開鑿は第一にあるもので、松島町でもこれは傍觀の出來ざる地點なれば、多少補助しても促進せしむべきものと見られてゐる、これに高城街の町會議員大和仁一郎氏を初めその他の町議連に商工組合の連中も躍氣運動を起し、松島町發展の食道とも見るこの往還問題を是非實現せしめねばならぬといきまいてゐる。

道路と上水道の改良整備

東北が生んだ大工學家、茂庭忠次郎、西大條覺兩氏は、國民衛生保健上に道路の

改良と上水道の普及とが密接にして分つべからざる緊切必須の事業たることを認め、貴族院議員今井五介氏を會長に、法學博士松井茂氏を顧問とし、工學博士牧彦七氏や池田圓男、島重治氏等内務畑關係有志の後援を得、東京市京橋區墨町八に水道普及會を設置し瀧川鶯郎氏を主事として、全國的に活動を開始する事に決し測量設計鑑定手續施行等は勿論希望によりては資金の斡旋貸付、融通をも計る事になつた。

は渥美村長各區に支部を設け、それら擔當區域を定め區民總出で奉任作業を行ひ、將來は一層理想的縣道として根本的擴張を加へる意氣込みである、因に表彰披露祝賀會は最近公會堂において舉行する。

古志郡西谷村道路

古志郡西谷村民が數十年熱望してゐた内地内の雪崩場を回避する道路變更は、地元村民の猛運動と當局の理解ある態度によつて遂に貫徹し、去る十日一萬四千四百圓にて高鳥組に落札し、下請負人長谷川信次氏は十六日來同地に出張し雪中にも拘らず鋭意工事を急いでゐるので地元民は感謝してゐる。

大大阪の中心を貫通する二十四間道路の御堂筋が、本町から更に貫けて長堀橋迄完成するのを始め梅田九條線、大川町線等十二線の擴張工事を遂行する事が出来、大阪市民は大喜びである、今度の認可で工事が出来る路線は左の二十三線である。

赤井村道路保護組合

表彰祝賀會

桃生郡赤井村道路保護組合は、過般本縣知事から優良組合として表彰されたが、同組合は先年村民多年の宿望であつた村道が縣道に編入され、當時創立したものでその間賞に目醒ましい奮闘を續け、兎角陸上の玄海灘と稱された同縣道をして今日の如く整然たる補修を加へたものである、組合長

近畿方面

大阪の玄關梅田から

長堀橋に至るまで

- ▲梅田九條線 ▲松屋町線 ▲鳴尾町一 天神間梅田十三線 ▲十三橋南詰から一鐵道線
 - ▲難波住吉線 ▲大國町一 鶴見橋通間
 - ▲大川町線 ▲淀屋橋一 肥後橋間 ▲長堀線
 - ▲玉造驛を中心とした東西の區域 ▲阿部野線 ▲阿部野橋一 松蟲間 ▲玉造一 野江線
 - ▲玉造一 練兵場間 ▲天滿一 蒲生線 ▲新淀川橋一 今福間 ▲北安治川線 ▲堂島大橋一 端藏藏橋間 ▲堀江玉造線 ▲清水谷女學校南通一部 ▲御堂筋南久寶寺町から長堀間
- 以上御堂筋を除く二十二線は、いづれも前年度に用地買収が済んで居り、家屋の移轉を行つて居る分て現在それ等の街並は手もつけられぬ荒野の如くなつて居り、附近

住民は非常に困つて居たものである、今日迄大阪市でも現内閣に向つて屢次この窮狀を訴へ、當局からも數回實狀視察に來て居たが、漸く前記の如く認可を得て關係者一同肥撫で降した、特に御堂筋廣路南久寶寺町以南長堀迄の新なる用地買収は現内閣としては餘程の英斷で、大阪市は躍り上つて喜んで居る。

同用地買収の延長は約二百三十四間、費用約三百七十萬圓、路面整理工事費約九十萬圓である、さて書類は今や内務省を終つて大藤省に廻されて居るものであるが、大阪市からこのために出張中の大塚庶務課長は引續いて大藏省に決濟督促の運動中である、大藏省審議を了し愈々本物なるのは年内三月末になるであらう。

滋賀縣支部の表彰式

梅花薫る紀元の佳辰を卜して、滋賀縣知事田寺俊信氏は、各種功勞者や優良團體を

表彰し、土木關係にては道路功勞者として五團體一名、優良修路工夫四名が其光榮を擔つた、尙全國一百名の道路功勞者中に道路改良會から選彰せられた本縣修路模範工夫古池龜次郎、木本桑吉兩君も同日を以て盛大なる傳達式を舉行せられ、長野縣支部も亦盛大に舉行した。

滋賀縣支部道路

愛護標語募集要項

- 一 標作上の要旨
標語ハ道路愛護觀念ヲ振作シ奉仕的愛道作業ノ勸奨ヲ高調シ得ヘキモノタルコト
- 二 應募上ノ注意
イ 應募標語ハ一人一句トス
ロ 應募標語ハ半紙、白紙ニ楷書ニテ記スルコト
ハ 應募者ノ住所氏名ハ標語記載ノ用紙ニ明記スルコト
ニ 應募標語ハ滋賀縣内務部土木課宛

切期迄ニ到着スル様差出スコト
尙封筒ニハ「道路愛護標語應募」ト
朱書スルコト

ホ 應募標語ハ一切之ヲ返付セス
ハ 當選標語ノ版權其ノ他ノ使用權ニ關シテハ當選者ハ無條件ヲ以テ之ニ應
スルコト

ト 當選標語ハ補修スルコトアルベシ
チ 剽窃又ハ燒直シノモノタラサルコト
リ 入選又は受賞後ト雖前項ノ剽窃又は燒直シタルコトヲ發見シタルトキハ入選ヲ取消シ又ハ賞金ヲ返納セシム
ルモノトス

三 締切期日 昭和五年三月二十日

四 賞 金

一等 拾五圓(一人) 二等 拾圓(二人)
三等 五圓(三人)

五 審 査 滋賀縣内務部長
六 發表ノ方法及時期

イ 入選者ハ縣公報ヲ以テ之ヲ發表ス

口 發表ノ時期ハ繪切期日ヨリ一ヶ月以内
昭和五年二月十五日 滋 賀 縣

道路改修進捗

將來の便益多し

兵庫縣多紀郡後川村から有馬郡高平、小野を経て三田に通ずる街道の中高平村から三田に通ずる縣道は一昨年改修されて、自動車の運轉を見るに到つたが、多紀郡後川村から有馬郡小野村への道は、いまだ改修されず、後川村ではこれが改修のため、再三その筋へ交渉しつゝあつたが、今回いよいよ後川村の役場から小學校附近に到る間を第一期工事として、改修に着手することとなり目下着々進捗してなる。

有馬郡の土木工事現況

篠山三田線以下五線

兵庫縣有馬郡三田土木出張所監督の下に

於ける郡内の土木工事の状態は次の通りである。

- △高平村『上佐曾利三田線』舊臘十二月二十八日工事着手、延長二百三十四間、
- △小野村母子『篠山三田線』道路改修工事昨年八月八日工事着手延長三百十間、
- △中野村『加茂官脇地内廣野停車場中野線』一月二十九日工事着手、

- △有馬町地内鋪裝工事、舊臘十二月八日着手、延長五十八間、工費千四百八圓
- △下山口『三田寶塚線』明治橋架換工事、一月一日工事着手、三月末成工の豫定、

和歌山市の京橋、竣工式

和歌山市内最も樞要の地點にある京橋は昭和三年六月以來架換工事中の處、この程竣工したので二月二日友部知事平川土木課長以下列席盛大に舉行された、此の日橋の兩側には此の盛儀を觀んとする老若男女無慮數萬陸續として押し寄せ非常なる雜沓を

呈した、通り初めは神官の修枝先頭をなし知事來賓以下附近小學兒童數千紅白の旗振翳して頗る美觀を呈した、(口繪参照)

中國方面

廣島縣の道路改修計畫

廣島縣では昨年の縣會で可決された、土木費七十萬圓増額修正に伴ふ事業計畫を進め、差當り橋梁卅ヶ所と道路五十ヶ所の改修を行ふことになつてゐるが、これに要す經費は市部十六萬圓で、残り五十四萬圓を郡部に充當する豫定であり、市部では懸案の相生橋電車併用橋を實現すべく計畫された郡部の道路改修は産業道路の改修計畫に基いて行はれるものである。

廣島縣道橋梁架替計畫案

廣島縣では五年度豫算審議の縣會におい

て、起償償還資金七十萬圓を明年度豫算に繰入れ、縣下の縣道並びに橋梁架換費に充當することになつてゐるが、縣土木課ではその後引續き縣下各地に亙つて調査の結果橋梁の架替費約十五萬圓及道路改修約五十ヶ所と判りこれに關する具體案を作成中。

長府下關間の國道改修

内務省では左の如く許可並びに認可の指令を發した。

一、山口縣第二號國道豊浦郡長府町下關間
改築設計變更の許認可す

埋立工事に關係なき部分及埋立完了したる箇所幅員を十二間とし、其他の箇所は九間乃至十二間とす。

長府國道改修土地買收

長府町地内東島居長府驛間における國道改修工事設計變更認可され縣は直に同町土地の買收を命ずる筈であるが、町當局に於

ても總ての買收準備を了し居れば、命令一下即刻買收に着手し縣に土地する筈である

九州方面

道路擴張

門司市の榮川尻附替工事は、逓信省關係のケール線の港町筋にあるものを第一着として處理し、市の工事も港町を第一着に起工する筈である、物件の賠償は日本銀行支店の外柵切取は既に相互に諒解なりて、日銀支店から正式に承諾書の提出もありて落着したが、新榮町の道路擴張に關する地主家主は、保田洋食店が土地も家も自己所有の外は地主も家主も一人で西田まつ女の所有で地主家主としては、大體の賠償價格も相當のもの認められ、問題視せられるものは、地主家主から借受けて現在營業しつゝある者に對する補償である、その申し出價格は二萬餘圓に達するが、その申出理

由は工事假店舗を他に求めるとその間の商業上の損害があるといふので、これが調査に時日を要するので、港町方面から起工する。

幹線道路の公園化を圖る

別府市の樂園的都市計畫は、いよいよこの年度明けから幹線道路の實測に着手する豫定で、近く事務所を便宜上市公會堂内に設けるはずである、なほ街路網幹線の決定をまつて、明年度都市計畫全地區に對する風致地區の指定をなし、森林天然物等の保存をなすこと、なつてゐるが、都市計畫遂行に當つては、現在の市區改正における耕地整理を土地區劃整理によつて行ひ、街路網完成と地方開發を併せ行ふ方針で、温泉回遊道路は幅員を八間から十一間に擴張し、觀賞樹その他の草花を植ゑつけ、遊覽氣分をそそり、道路の公園化をはかるはず